

# 全国保健師長会 栃木県支部便り

発行  
全国保健師長会  
栃木県支部  
令和6年8月吉日  
第45号



## 支部長あいさつ

栃木県支部長 太田 由希子（安定健康福祉センター）

全国保健師長会栃木県支部活動については日頃から御協力をいただき感謝申し上げます。

今年度から支部長を務めさせていただきます太田と申します。会員の皆様、役員の皆様と力を合わせて支部活動を進めて参りたいと思いますので、御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

さて、令和5年度は新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行し、各種保健福祉事業の復旧、新たなステージへの展開に尽力された一年だったと思います。

地域保健法に基づく地域保健対策の推進に関する基本的な指針において、各保健所及び地方衛生研究所等は、平時から感染症のまん延等に備えた準備を計画的に進めるため、健康危機対処計画を策定し令和6年度から運用することとなりました。

また、市町では、こども家庭センターの設置、精神保健に課題を抱える方々への支援体制等が求められ、それに向けた構想、調整の中心を保健師の皆様が担われたことと思います。

そのような中、令和6年元日に能登半島地震が発災し、本県からも多数の保健師が応援派遣に向かわれました。甚大な被害を受けた石川県の職員の方々や避難先で不安を抱える住民に寄り添い、支援に尽力された保健師諸姉の御労苦に対し、この場をお借りして深く敬意を表します。同時に、応援派遣の調整の労を取られました保健師の皆様、応援派遣に保健師を送り出し、業務を支えてくださった皆様、本当にお疲れ様でした。

全国保健師長会が昨年度実施した調査研究事業「健康危機管理における保健活動を推進する統括保健師間ネットワーク構築に関する調査事業」の研究結果によりますと、統括保健師間のネットワーク構築の成果は、健康危機発生時の迅速な協力の授受や情報共有、平時における人材育成や健康危機に備えた情報共有や検討の推進等であると示されました。

これにより、今年度は、全国保健師長会に「統括保健師間のネットワーク推進特別委員会」が設置され、継続的で実効性のある統括保健師間のネットワークづくりについてさらなる検討が進められることとなっています。

社会の大きな変化の中で保健師が一丸となり、地域保健の向上に資することができるよう、当支部活動においても統括保健師等、保健師同士の連携のもと、研鑽や情報交換の機会をつくり、人材育成、健康危機への備え等を図って参りたいと思っております。



## 能登半島地震被災地支援について

栃木県保健福祉部保健福祉課 原田 千佳子

会員の皆様には、日頃から栃木県の保健福祉活動に御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

4月に保健福祉課地域保健担当に参りました原田です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地支援においては、県の保健師の皆様、各市町の保健師の皆様にご協力をいただきましたことを、心から感謝申し上げます。

これまで、栃木県においては県と宇都宮市の合同チームによる保健師の被災地派遣の経験はありましたが、今回の能登半島地震の1.5次避難所は長期的な支援の必要性が見込まれることから、宇都宮市以外の市町にも派遣の協力依頼をさせていただきました。県内各市町の保健師の皆様には急な依頼にも関わらず業務の調整等をいただき、県においては保健師21名、ロジスティック職員18名、市町においては、15の市町から合計25名の保健師派遣に協力をいただきました。今回の被災地への保健師派遣を通じて、統括保健師を中心とした保健師同士のつながりの重要性について改めて実感いたしました。

令和6年度になり、各市町や広域健康福祉センターでは、看護職員を対象とした被災地支援の振り返りや報告会の開催、災害関係のマニュアルの見直し等の取り組みを実施しているとお聞きし、能登半島地震の被災地派遣の経験を通じ、県及び市町における災害対策に関する意識の高まりを感じております。

県においては、6月に大規模災害時における保健医療福祉活動の課題の共有等を目的とした、令和6年能登半島地震支援活動報告会を開催しました。各支援チームから、現地での活動の報告や他支援チーム等との連携上の課題、受援に関する備え等について、12団体からご発表いただきました。また、各自治体において災害対応の準備に取り組めるよう、危機管理対応力の向上のための健康危機管理研修を開催し、県及び市町から約70名の参加をいただきました。「災害時における初動対応と情報共有～クロノロジー（経時的活動記録）から次の対応を考える」では、アクションカードを用いて、一連の初動対応と関係機関（保健所、市町）との連携に関する実践的な演習を行いました。この演習を通じて、平時から関係機関と「顔の見える関係」を構築し、迅速かつ的確に連携できる体制整備の重要性に気づくことができたのではないかと考えています。

今後も皆様のご協力をお願いいたします。

### ◆能登半島地震における保健師派遣状況◆

	第1陣	第2陣	第3陣	計
県保健師	14	3	4	21
県ロジ等※	8	5	5	18
市町保健師	4	10	11	25
(自治体数)	(1)	(10)	(9)	(15)
計	26	18	20	64

※県行政・医師・薬剤師・獣医師・臨床検査技師



## 令和6年度 全国保健師長会栃木県支部総会 報告

令和6年5月25日（土）にとちぎ健康の森において37名の会員の御出席のもと、総会を無事に終了いたしましたことを御報告いたします。

御出席いただきました会員各位には改めて感謝申し上げます。今後とも御協力を賜りますよう、お願いいたします。

## 令和6年度 会員加入状況及び役員紹介

### 《全国保健師長会加入状況》

	県(人)	市町(人)	計(人)
平成29年度	49	112	161
平成30年度	47	112	159
令和元年度	44	108	152
令和2年度	45	109	154
令和3年度	41	111	152
令和4年度	41	109	150
令和5年度	35	108	143
令和6年度	35	113	148

### 《役員紹介》

職名	氏名(所属)
支部長	太田 由希子(安足健康福祉センター)
副支部長	橋本 美羽(栃木市)
副支部長	若林 珠江(精神保健福祉センター)
書記	小野澤 典子(安足健康福祉センター)
会計	渡辺 理子(矢板市)
監事	吉田 琴(宇都宮市)
本部広報委員	佐藤 由紀子(県南健康福祉センター)
本部調査研究委員	福原 円(小山市)
健やか親子特別委員	舘脇 悦子(矢板健康福祉センター)
栃木県看護職員確保対策委員会	吉田 琴(宇都宮市)
栃木県保健師現任教育のあり方検討会委員	太田 由希子(安足健康福祉センター)



## 全国保健師長会栃木県支部 第1回研修会 報告

日時 令和6年5月25日（土）14時～16時  
場所 とちぎ健康の森 大会議室  
講話 「疲れた心を整える セルフ・コンパッション」  
～私たちのレジリエンスを高めよう～  
講師 武蔵野大学ウェルビーイング学部  
教授 秋山 美紀氏  
参加者 37名

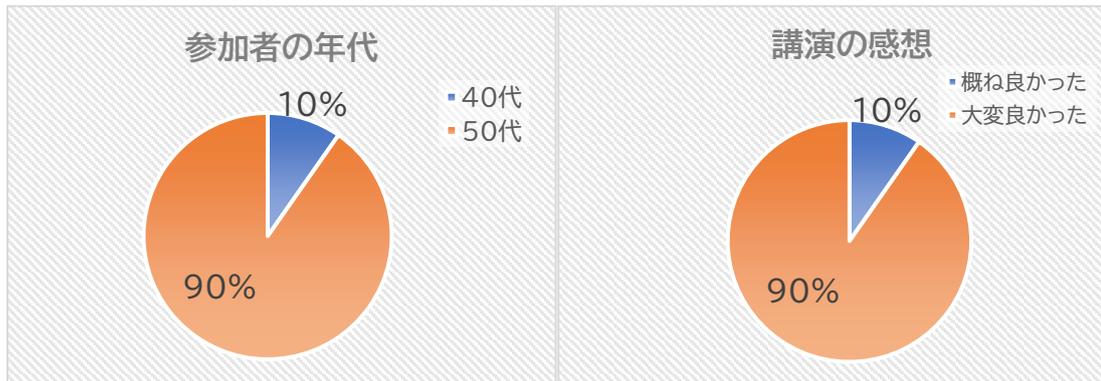


### 秋山先生から

- 対人援助職も自分自身をいたわることが大切であると気づくこと
  - 人をケアするために必要なセルフ・コンパッション、レジリエンスについて理解する
  - セルフ・コンパッションとレジリエンスを培う方法を実践する
- これらについて御講話をいただきました。

## 受講されたみなさまの感想

### 研修アンケート結果（回収率 83.8%）



#### 《感想・意見》

- ・元気がなれた。ありがとうございました。
- ・自分自身のいたわり方を深淵に聞くことができた。
- ・自分を元気にすることで仲間や家族、対象者への接し方が良好になると再認識した。
- ・自分を大切にしている仲間を大切に仕事をしていこうと思えた。
- ・看護職が意外とできていないセルフ・コンパッションの大切さに気づけた。
- ・感謝の気持ちを口に出すなど実技がとても良かった
- ・セルフ・コンパッションとレジリエンスについてとてもわかりやすく講義ただけて大変勉強になりました。同年代の皆さんと楽しく話ができエネルギーをたくさんもらいました。
- ・支援者を一人の人間として、自分の健康や幸せに目を向けることがケアの質を高めることを改めて学び、自分の気持ちがプラスになった。

## 全国保健師長会北関東甲信越ブロック第1回支部長会議報告

6月29日（土）全国保健師長会北関東甲信越ブロック支部長会議が開催されました。

### 全国保健師長会理事会報告

#### ◇ <令和6年度活動方針>

「変わりゆく地域の健康課題に対峙する公衆衛生看護活動の展開～”誰ひとり取り残されない”保健師活動の転換期を仲間とともに乗り越える～」

#### ◇ 令和5年度全国保健師長会調査研究事業結果報告

各調査結果は全国保健師長会ホームページに掲載されていますのでご参照ください。

#### ◇ 令和6年度事業予定

- ・「感染症を中心とした健康危機管理において統括保健師に必要とされる技術の明確化に関する研究」
- ・「統括保健師間のネットワーク」の調査
- ・「令和6年能登半島地震における自治体保健師の被災地支援の実態調査」

#### -研修会及び代議員総会等の予定-

- ・北関東・甲信越ブロック研修会 10月12日(土)会場:新潟市 ハイブリッド開催 (申込は9/20まで)
- ・令和6年度全国保健師長研修会 11月 8日(金)会場:福井県 ハイブリッド開催
- ・全国保健師長会代議員総会 11月 9日(土)会場:福井県 ハイブリッド開催

御参加ください

## 第71回全国精神保健福祉全国大会の開催に向けて

栃木県保健福祉部障害福祉課 星野 真有美

国において、地域で安心して暮らせる精神保健福祉体制を実現するため「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」（以下「にも包括」という。）の構築に向けた体制整備や、患者の権利擁護に関する取組を一層推進する等を内容とする精神保健福祉法の改正が行われました。

この「にも包括」の取組ですが、栃木県では平成25年度から保健・医療・福祉の連携強化や人材育成を目的に、地域移行研修会を行ってきた経過があります。これまで培ってきた顔の見える関係を活かし、住民にとって身近な市町単位において、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるご当地システムを目指し、「にも包括」のエンジンとなる「協議の場」で、知恵を出し合える土壌づくりを進めているところです。

また、昨年度には「栃木県保健医療計画」をはじめ、「いのち支える栃木県自殺対策計画」や「栃木県依存症対策推進計画」を策定し、今後も精神保健福祉施策に関する取組みを推進していくこととしております。

このように精神保健福祉を取り巻く環境が変化する中、「第71回精神保健福祉全国大会」が栃木県において開催されます。

災害時医療に関する講演や「にも包括」についてのシンポジウムを予定しておりますので、是非、会場に足をお運びいただき、皆様がつながりあえる場にいただければ幸いです。

大会テーマ 『「今こそ歩みを」～いつでも繋がり支え合う地域共生社会～』

開催日時 令和6(2024)年10月11日(金) 午前10時～午後3時30分

会場 栃木県総合文化センター メインホール

## 第2回 栃木県支部研修会のご案内

皆様の御所属では保健師記録に関する現任教育をどのようにしていますか？

個人情報保護法施行後20年が経過し、行政機関への保有個人情報開示請求が身近となってきている今日、記録に関する意識を高め適切な記録を行うことがより重要となっています。

そこで、管理期保健師が保健師記録や保有個人情報開示請求について必要な見識を備え、適正な記録のしくみづくりに取り組めるよう、研修会を開催します。

たくさんの御参加をお待ちしております。

1日時 令和6年9月14日(土) 14時～16時30分

2場所 とちぎ健康の森 小会議室

3講演 「保健師記録と開示請求」～適切な保健師記録としくみづくりに向けて～

4講師 山形県立保健医療大学保健医療学部

看護学科 教授 菅原 京子 氏

お待ちしております